



能勢ささゆり学園 能勢小学校 学校だより

# ささゆり

7月学校の理科室前には朝顔が咲き、ミニトマトが赤い実をつけています。朝顔は奈良時代に中国から渡ってきて江戸時代に流行したようです。1年後は家で朝顔の観察を続けます。実をつけた後、収穫した種が次の人へつなぐと素敵ですね。

発行 Vo. 4 令和3(2021)年7月19日

## 元オリンピックの水泳指導「脱力して楽に泳ぐ?!」

今年度、4年生以上から中学3年生まで、大阪経済大学の若吉浩二教授の専門的な指導を継続的に受けて水泳指導を展開しています。若吉教授は1984年日本代表の水球競技選手としてロサンゼルスオリンピックに出場された水泳の達人です。3年前から能勢っ子の走力を伸ばすために取り組んでいる「オノマトペ体操」でお世話になっている方です。

スイムバルンサー(補助具)を腰部に装着することで下半身が浮き、水平ポジションが維持できます。そのことにより、正しい水泳技術を身に付けることが可能になり、力さえ抜けば自然と浮くことができます。



### 【実際の指導の手順】

- ① ダルマ浮き+立位姿勢
- ② ダルマ浮き+伏し浮き+立位姿勢
- ③ 壁蹴り+けのび+バタ足キック+キャッチアップクロール+呼吸
- ④ 壁蹴り+けのび+ドルフィンキック+かき(外側と内側のドル平)+呼吸



泳ぐときに頭を前にあげてしまうと、腰が沈み、水平に浮くことができません。このスイムバルンサーは、特殊素材でできていて、これまで使っていたお腹に巻くヘルパーと違い、沈みがちな腰をしっかり両側から支えてくれます。しかも、浮き具がぴったりと腰にフィットするのでびっくりするぐらい体が浮き、泳ぎの邪魔をしません。校長先生も実際につけて泳いでみて、その効果に驚いているところです。今年は、コロナ禍で密を避けて、水泳指導は学級毎で行い、例年より水泳指導時間数は少ないですが、今後が大変楽しみです。

2学期は9月10日まで水泳指導は続きます。

## 5・6年生 非行防止・犯罪被害教室 『自分の命は自分で守る』

7月5日(月)大阪府青少年・地域安全室・池田少年サポートセンターから松田さん・城代さんにお越しいただいて、非行防止・犯罪防止教室を行いました。5年生・6年生それぞれで万引き・暴力・夜遊び・たばこ等について考える機会を与えていただきました。

万引きはいたずらではなく犯罪であること、おうちの人とスマホ・SNSの使い方や約束を決めておくこと、悪い誘いを断る勇気を持つこと、こまったときはすぐに大人に相談すること等、人形劇とお話を交えながら、非行防止・犯罪被害について考えました。ご家庭で夏休み中の約束について話し合ってください。お願いします。



低学年で水が怖い子は?その対策として「毎晩、お風呂でシャワーを頭からかけて、顔を拭かずに数秒間、息をはく練習をしましょう。」と伝えています。また、平泳ぎのカエル足が苦手な子は?その対策として、プールに入らなくても、おうち中で、つま先を挙げてガニ股で「かかと歩き」をおすすめします。両足親指のつま先を外に向けて足首を曲げたり伸ばしたりする運動が効果的です。次、プールに入る時までに練習を重ねておくといいですよ。お布団の上でもやってみてください。

## 2・4年生 防犯教室 『出かける前に家族と約束を!』

7月6日(火)5時間目、大阪府警・豊能署からお越しいただき、防犯教室を開催しました。ランチルームから遠隔操作をして、4年生と2年生は各教室の大画面テレビを見ながらリモートで行いました。知らない人に出会ったとき、犯罪に巻き込まれないようにするためにどのような行動をとればいいのかについて学習しました。知らない人にはついて行かない。車に連れ込まれそうになったら防犯ブザーを鳴らし、大声で周りの大人を呼ぶなど、自分の命は自分で守れるように夏頃から危機意識をもって行動しましょう。夏休み中、外出するときは「①誰と遊ぶか②どこに行くか③何時に帰るか。」等必ずおうちの人と約束してから遊びましょう。



## 能勢町・森林組合から「巨大カブトムシハウス」のプレゼント



今年、6年生が総合的な学習の時間に「森プロジェクト」と題して能勢の自然をテーマに学習を進めています。能勢町役場地域振興課のご協力を得て、カブトムシの幼虫をいただき、学校で飼育しています。能勢町森林組合の花崎さんが右の写真にある「カブトムシハウス」(仮称)をユニック付きトラックで運んでくださいました。

まずは、7月31日(土)の里山デイキャンプで、このハウスを利用した生き物さがしに使われる予定です。このハウスは、森林組合の北村さん・小野さんが苦労して作ってくださったものです。防腐加圧注入という特殊な工法で、木材が雨で腐らないように工夫されており、屋外で雨風にさらされても腐りにくく、長持ちするらしいです。

今後、カブトムシに限らず、いろんな生き物を観察するときに使えるようなハウスです。また、校務員さんの新谷さん・中谷さん・岡野さんもこの巨大カブトムシハウスの基礎部分をブロックや木材で蓋をして、カブトムシが地中にもぐってしまわないように、また、モグラやイタチの地中から侵入を防ぐために工夫をしてくださいました。

現在、右の写真の「ミニカブトムシハウス」は、(仮称)役場職員藤井さんが手作りで作成してくださいました。幼虫・さなぎを経て、成虫になったカブトムシが、昼間は土の中にもぐっています。木の陰に置いて、テントを屋根代わりにして暑さをしのぎながら大事にカブトムシを育てています。全校児童・生徒の皆さんにも時々様子を見てほしいです。

先日、いつもお世話になっている貝塚市自然遊学館職員の天満和久さんにお越しいただき、6年生がカブトムシの飼い方や生態について学びました。このカブトムシを通じて、能勢の森について学習を深めていきます。

今後の展開が益々楽しみです。



◆夏休み学習会、水泳促進は、7月27日・28日・29日・30日の4日間、開催します。いつも通りの登校、午前10時最終下校(バス発車)となります。

◆8月6日は、全校平和登校日です。いつも通りの登校、10時最終下校(バス発車)となります。